

令和元年度第1回就労支援事業所研修会

「支援者に求められること」～医療・当事者の立場から～

令和元年6月28日(金)



<医療の立場から>

福岡市精神保健福祉センター所長・精神科医の本田洋子氏より、精神症状、発達障がいのある方への配慮と対応について豊富なエピソードを交えてご講演いただきました。

<当事者の立場から>

ピアスタッフとして働いている2名の方から「支援者の共感・傾聴が信頼に繋がる」「何度失敗してもいいから挑戦する。失敗すればするほど成功する確率が増えると信じて日々挑戦している」など自身の経験談からご講演いただきました。



<意見交換会>

「病院受診を薦めたいがどうしたらよいか、本人が嫌がるかもしれない」「病院への支援者同行について」等、支援者間で講義の感想・日ごろの支援で困っていること・悩んでいることなど意見交換を行いました。最後には本田先生より利用者とのかわり方や医療機関との連携などについて具体的なアドバイスを頂くことができました。

今回参加された皆さんの感想

- ・医療との関わりについて改めて考えることができた。
- ・支援を行う上でのヒントを頂けた。通院同行等も前向きにとらえていただけると知り安心した。具体的な声かけの仕方をご紹介いただき大変参考になった。
- ・医学的な立場からの意見を聞く機会が少なく、参考になった。
- ・当事者の話しはとても貴重だった。フィードバックして活かしていきたい。
- ・当事者の言葉をとても重く受けとめた。支援者としてのあり方を改めて考えるよい機会となった。寄り添い、一緒に悩める支援者となれるよう頑張りたいと思う。
- ・沈黙の共有、オーダーメイドの支援。作業を回すのに精一杯な日々、立ち止まって自分の日々のメンバーさんとの関わり方を振り返る良い機会になった。

担当者一同

令和元年度 第2回 就労支援事業所研修会

令和元年 10月 16日



まず始めに、「企業を知る」をテーマに、障がい者雇用の動向と現状についてと企業を良く知ることの重要性について講義を行いました。

その後、異業種4社の企業紹介をそれぞれの立場からいただきました。

次に、参加いただいた4企業の方と参加者がグループに分かれ、40分の意見交換会を3回行いました。

初めて企業の方と話をするという支援者もいる中、最初は緊張もありましたが、なごやかな雰囲気の中で「仕事で求められること」「支援者に求められること」など活発な意見交換ができ、貴重な時間となりました。



最後に、「気づいたこと」「支援者に求められること」のテーマでグループディスカッションを行いました。

ジョブマッチングにおいて、利用者・企業のアセスメントの大切さ、また、利用者の情報をしっかりと企業に伝える必要があることが分かったという意見がありました。



定員を超える多くの参加があり、無事開催することができました。企業の方から「就労支援は人の人生に関わっているということを忘れないでほしい」「訪問し、企業のことをもっと知ってほしい」というコメントがありました。本日の気づきをそれぞれの事業所に持ち帰り、明日からの支援に活かしていただきたいと思います。

担当者一同

令和元年度第3回 就労支援事業所研修会

「支援者に求められること」 ～支援者同士の意見交換会～

今年度第3回目となる就労支援事業所職員向けの研修会を行いました。



日時： 令和2年1月30日（木）
場所： 福岡市中心身障がい者福祉センター
参加者： 就労支援事業所及び支援事業所の職員
参加数： 29名

アセスメントについて

就労支援アセスメントのポイントについて日頃の支援を振り返りました。参加者からは「就労までのプロセスや支援者の視点を知ることができた」「アセスメントの内容を記録に残すことの大切さが分かった」また、「普段分かっているつもりで見落としがちなところを細かく確認できた」等の意見がありました。

事例報告

ノーブルジョブアシスト支援員の坂下氏からは、当センターの後方支援を活用し就職された方の事例を報告していただきました。事業所内だけでは支援の方向性に困難さを感じていた方に対して、当センターのサポーター企業を使って就労に向けて準備したことや、アセスメントでの支援者の視点、企業は支援者に何を求めているのか等についてあらためて学ぶ機会となりました。

意見交換会

参加された支援者からは、「困難事例に対して支援に自信をなくしていたが、試行錯誤の中での支援に勇気づけられた」「サポーター企業などの事業所支援を活用し、体験実習からすすめてみたい」「企業の目線にたつというところが新たな視点となった」等様々な意見があり、日頃の支援での課題に対して有意義な意見交換ができました。

日頃関わる利用者の変化やサインに気づく力、支援者が問題を解決するのではなく利用者の自己決定を促す支援をすること、利用者のニーズに沿ったオーダーメイドの支援、支援者が一人で抱え込まずに共有できる環境の大切さ等を共有できました。

今回の研修会で得た気づきをそれぞれの事業所に持ち帰り、今後の支援に活かしていただきたいと思います。

担当者一同